

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年9月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300864
法人名	有限会社 うえの福祉会
事業所名	グループホーム うえの
所在地	鹿児島県鹿屋市上野町5200番地1 (電話) 0994-40-3181
自己評価作成日	平成27年8月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・当ホームは、現在12年目を迎え、利用者様も重度化が進んできております。ご家族からの「住み慣れた場所で最期を迎えたい」のご要望に応じていけるよう、看取りケアに取り組んでおります。医療的ケアが必須となる中、訪問診療専門の主治医による24時間の医療体制の構築、家族とのしつかりとした連携、個々のニーズに合わせ体制作りを心掛けて、さらなる向上のために定期的な勉強会、意見交換を設け職員一同が統一したケアに取り組むよう体制作りを行っております。

・利用者様の重度化に伴い、職員の介護軽減の一つに5年前より、機械浴を導入したことで、安心・安全の下、車椅子の方でもゆっくりと湯船に入れるよう配慮したケアに取り組んでおります。

・又、同一敷地内の事業所より定期的に機能訓練士によります。「ほぐしマッサージ」が行われ、利用者様は大変喜んでおられる姿がみられています。

・今後、高齢化もますます進むことが予想されます。利用者様、ご家族のご希望に沿ったケアに取り組み、喜んで頂けるよう職員一同研鑽活動に取り組んでいきたいと思っております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年9月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は敷地内に同系列のデイサービスや有料老人ホームが隣接しており、相互協力体制が構築されている。民家も多く散歩の際には地域の人々と挨拶や会話を交わし、ふれあいながら生活できる環境にある。

・町内会に加入し、地域行事に積極的に参加している。「認知症ケア専門士」の資格取得者もおり、認知症相談にも対処する方向である。

・災害対策として定期的に避難訓練を実施し、安全対策の整備もなされている。

・利用者個々人の習慣や楽しみ・特技を把握し、習字や菜園の手入れなどに個々の力量を活かしながら、その人らしい生活ができるように工夫している。定期的に機能訓練指導員による「ほぐしマッサージ」などで機能の維持を大切にしている。

・管理者は職員を育てることに力を入れ、資格取得を支援している。職員は自らの資質向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者本位と地域交流を基本とし4つの理念を掲げて、毎週月曜日の朝に、皆さんで唱和して共有し、日頃のケアに繋げている。	地域との関連性を踏まえた理念で、事業所内に掲示している。毎週月曜日に職員と利用者で唱和し、職員会議等でさらに掘り下げて話し合い、具体的なケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加や事業所行事への招待など交流の場として、日常では気軽に立ち寄れる施設の雰囲気作りに努め、地域との付き合いを実践している。	自治会に加入し、地域行事の敬老会や夏祭りなどに積極的に参加している。中学生の職場体験や専門学生の実習、ボランティアの受け入れなども行い、地域との交流を図っている。認知症相談窓口を設置し、気軽に住民が来訪できるように計画中である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域包括ケアシステムの主旨について学び、利用者家族や地域の方への認知症相談の機会を設ける等の取り組みが、より一層地域の密着した貢献の手法について模索しているところである。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年6回事業所内で運営推進会議を実施して日頃のケアや取り組みについて報告し、行政や地域の方達から貴重なご意見を利用者支援や地域の関わり方に活かすよう心がけている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告を行い、参加者から多くの助言や提案が出され、地域行事等の情報提供を聞き意見交換を行って、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市担当者への連携や相談が重要であることを理解し、良い事例だけを取り上げるのではなく、悪い事例も積極的に伝え意見を頂き、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市担当者とは困難事例や情報を交換して、アドバイスを貰っている。運営推進会議を通して協力関係もでき、市主催の研修会にも積極的に参加している。生活保護の担当者とも密に連絡し合っている。市の地域ケアサポートワーカー養成研修参加時に意見交換を行って、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>随時、外部研修への参加や内部研修による周知徹底を実践し、認知症の方達の症状が介護者の関わり方により、症状が軽減される事を皆が理解し、身体拘束のないケアを実践している。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、外部・内部研修に積極的に参加している。事例検討会などで職員の共通認識を図り身体拘束をしないケアを実践している。玄関は昼間、施錠せずに職員間の連携で安全な生活を支援している。事故防止のため、やむを得ない場合、家族への説明及び同意、経過記録等を適性に行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	内部、外部研修での学びの場を設けて、意識づけを行うことで虐待防止の徹底を図っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度の理解を深めるとともに実際、後見人との意見交換を行ったりして、より良い制度との関わりについて活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関する事項は、必ず書面による説明に同意・確認を行い、説明の際には「気になることは何でも聞ける」雰囲気作りについて心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会や電話等でどの職員でも意見や要望を汲み上げられるように努め、運営推進会議などを通して提案や実践の結果を報告している。	日頃からなんでも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。利用者からは日々の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会や家族会・行事参加時などに意見等を聞いている。遠方の家族には電話や便りを出して話をしている。出された意見や要望等は職員で話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議や日常の関わりの中でボトムアップの場を設けて、より良い施設の運営に繋げている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の向上は法人としての成長の基盤であり、一人ひとりの努力、実績、他職員の波及等考慮して就業環境整備を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修の場を設け、又、外部研修の情報を収集して職員に周知し、研修の受けやすい勤務体制に配慮しながら職員を育む環境を整えている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>積極的に同業者との交流を図り、地域の高齢者を支える仲間としての立場から、サービスの質向上の実現に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>環境変化が本人に与える影響の大きさについて理解し、ニーズの把握に努めると共に、他の利用者の方達に上手く馴染めるよう配慮している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族との信頼関係作りに努め、特に初期は本人や要望などの思いを聞かせて頂き、その実現に繋げている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ニーズを的確に把握して、うへの福祉会他事業所の専門職の意見も得ながら初期対応を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、共に生きるをもとに、共に笑い、共に泣き、支え合う暮らしを実践している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の家族に対する思いと、家族の本人に対する思いを大切にしながら、良好な関係が保てるように努め、時には、家族と共に本人の事について考える場面を設けたりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族のみならず友人や以前に利用していた施設の関係者の訪問も明るく迎え、外出支援により、馴染み場所へ行く事が出来るよう支援している。	他事業所の友人に会いに行ったり、親戚や馴染みの友人・知人の訪問を奨励し、訪問しやすい雰囲気作りに努めている。馴染みの理・美容師の訪問もある。年賀状や暑中見舞状を支援したり、家族や友人からの電話の取り次ぎも行い、継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外出や外食・墓参も行っている。遠方の家族等とも関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の位置やレクリエーションの進め方を工夫することで利用者同士のコミュニケーションの円滑化を図り、エンパワメントの意識で支えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所や転居の際の情報提供にとどまらず、必要な時はいつでも連絡頂けるように家族や関係先に伝え、要望がある時は的確な情報提供やアドバイスを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いが引き出せるような雰囲気作りを心掛け、本人から聞き取れない場合は家族から聞き取る体制を作っている。	日常の暮らしの中で、ゆっくり話を聞く機会を設けたり、表情や言葉などから本人の思いや意向の把握に努めている。家族や友人・知人からの情報も記録等で共有している。畑の草取りなど幅広くその人らしい生活ができるようにしている。意思疎通が困難な場合も、職員間で話し合い、家族からの情報をもとに本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	回想法など用いて、本人から聞き取っていくが、困難な場合は家族から聞き取り、日々の生活に取り入れることができることは積極的に取り入れている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの現状を的確に把握できるように日々様子観察し、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	その人に合った介護計画の作成を実現すべく、的確なモニタリングや再アセスメントを行い、本人や家族の声を貴重な意見として介護計画に反映し、また、実現可能な目標設定の下に計画作成を行っている。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ職員で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングを3～6ヶ月毎に行い、必要に応じて現状に即した計画になるよう見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>職員間の情報共有は連絡帳を用いて、共通認識し、計画書の見直しや変更に対応できるように取り組んでいる。</p>			
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ニーズの多様化について意識し、外部研修などで得られた知識を、周知する事で柔軟な対応が出来るよう実践している。</p>			
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>アセスメントの中で地域との関わり方を考慮し、QOL向上に繋げている。具体的には地域のボランティアの受入や外部事業者との連携によって利用者の豊かな暮らしを支えている。</p>			
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望に添えるよう、訪問診療や受診など臨機応変に対応し、かつ適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。通院は家族の協力を得ながら支援している。歯科・在宅支援診療所の往診及び訪問看護ステーションとの医療連携が図られ、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職場内の看護職員との情報共有に努め、訪問看護師とも密な情報交換を行って利用者の健康支援に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時等情報提供書を作成、提出し面会時や電話での情報共有も図っている。また医療支援者との連携に努め、良好な関係作りを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合における指針を作成し、段階を踏み家族、本人と話し合いを行い、主治医や医療従事者と共にしっかりとしたチームケアに取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、在宅支援診療所や関係者の連携のもと、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りケア希望の場合、訪問看護ステーション及び訪問診療との24時間医療連携体制が整っている。職員は関連の勉強会や講習会に参加している。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的な研修などへの参加やその知識共有を図りながら、急変時や事故発生時への対応力向上や実践力を身に付けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>計画的に避難訓練を行うことで全職員が災害時の対処方法を身に付けると共に、地域の方や消防団の方達に避難訓練に参加して頂いたりして、協力体制を整えている。</p>	<p>年1回消防署指導で昼夜間想定 of 避難訓練と、自主で避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され町内放送もある。避難路のスロープを整備し、訓練時は地域住民や民生委員・町内会長の参加を得る等、地域の協力体制が築かれている。災害時の食糧等の備蓄は同一敷地内の事業所で一括管理している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を大切にし、接遇マナーなどの研修を定期的に行い、利用者のプライバシーなどに十分配慮し対応を心がけている。	定期的な勉強会を実施し、日々の生活の中で、人格やプライバシーを損ねず、人としての尊厳を保てる言葉かけや対応に留意している。法人全体で外部講師による接遇研修を実施し、対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望の表出や自己決定が出来るような声掛け、又雰囲気作りを心がけ日常生活に反映している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活のリズムやペースを大切にし、どのような生活が送りたいのかを希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の好みの洋服などを選んで身に付けて頂いたり、鏡を見て身だしなみなど出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年1回の利用者の嗜好調査で好みの食べ物などをしっかり把握することが出来、毎日の食事の中で反映することで喜んで頂いたり、又野菜の下ごしらえをすることで食事をより楽しんで頂けるよう配慮している。	食事は一人ひとりに応じた食事形態で提供し、できるだけ自分で食べられるようにしている。利用者の力を活かしながら、準備や後片づけ・手作りおやつ等を職員と一緒にやっている。職員と菜園の収穫をしたり、クリスマス会やソーメン流しなど家族も一緒にの行事食で、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録に残すことで特変時の見落としがなく、水分量がしっかり摂れる体制を整えて支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず、口腔ケアを行い、自力で出来ない利用者についてはスタッフの介助の下で行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し一人ひとりの排泄のパターンを把握して、失敗の減少を心がけ、自立に向けた取り組みを行っている。	排泄パターンや習慣を把握し、自尊心に配慮しながら、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。清拭やシャワーで清潔保持にも配慮している。服用している薬剤の影響も考慮しながらトイレ誘導をしている。身体状況等により、本人に負担のない排泄支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分の摂取量を記録に残して一人ひとりの状態の把握に努め、本人に合った便秘の解消に繋げている。運動への働きかけ等も積極的に取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を実施し利用者の方の体調を第1に考慮し、一人ひとりの入浴時間等も含めて楽しんで頂けるよう心掛けている。失敗などでの汚染時などもシャワー浴などで清潔を保っている。	入浴は週3回を基本に、午後の入浴を実施している。一般浴と機械浴があり、体調や希望に添った入浴ができるように対応している。必要に応じて機械浴で車椅子の利用者も入浴を楽しんでいる。入浴を嫌がる場合は無理強いせず様子を見て対応している。失禁時等はシャワー浴で保清に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	週1回の寝具の交換実施。天候の良い日は天日に干したり、日頃から寝具の整理整頓に心がけいつも気持ち良く休息したり就寝出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	体調の変化に十分に注意しながら、用法、用量について十分理解し、服用時は職員間で何度と名前を確認を行い、安全を確保している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者に本人の無理のないよう本人の出来る事を積極的に取り組んで頂き、喜びや張り合いに繋げられるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の生活レベルに合わせ、外気浴、散歩、買い物支援などで戸外に出れるよう支援しており、また、家族の協力の下、外食や墓参りなどに外出できるよう支援している。	日常的には、玄関前のベンチで外気浴や敷地内の散歩をしている。年間計画でホーム行事の花見等を実施している。本人の希望で買い物に出かけたり、家族の協力での外出等もあり、外に出る機会を多く持てるように工夫している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1名の方が千円ほどのご自身で管理できている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎年、年賀状、暑中お見舞いを近況報告を含め、家族や身近な方へ出したり、本人が電話をしたい等の要望に応じて支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場合は毎日清潔を保てるよう、遅番者が業務の中に清掃の時間を設け、季節を感じるように壁面や飾りなどで、雰囲気を感じて、居心地良く過ごせるように支援している。	共用空間は天井が高くゆったりした造りで窓からの採光が明るい。換気に配慮し、掃除が行き届き清潔である。壁には季節の飾りつけや利用者の墨書などの作品が貼布されている。「ほぐしマッサージ」の畳コーナーやソファコーナーもあり、思い思いにくつろげる様に工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自室で過ごしたり、皆さんでリビングでテレビ鑑賞したりと本人の思い思いに過ごせる居場所を整えている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使いなれた品物や好みの物を部屋に置いたりして、本人の居心地のいい環境を整えて過ごせるよう工夫している。	居室は出窓に障子があり、奥行きと柔らかな明かりで落ち着いた環境である。介護ベッドやクローゼット・洗面台が備え付けである。椅子や衣装箱・時計等の使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、クリップボードには写真や絵など貼布し、安心して過ごせるよう配慮されている。寝具はリースで清潔に保たれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ケース会議や職員会議、毎朝の申し送り等で状態を把握して安全、安心な環境の下、自立した生活が送れるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない